

□ごあんない

今年もお盆の時期にあわせて「牡鹿半島のくらし」と題して文化財レスキュー展を開催します。

今回見ていただくのは、50年ほどまえの牡鹿半島の漁業・農業・捕鯨・生活の道具です。

こうした道具が何に使う道具なのかや、それらから思い出される昔のくらしについて、ぜひお聞かせください。

被災した牡鹿公民館が所蔵していた民俗文化財がレスキューされて以来、東北学院大学ではクリーニングや害虫駆除などの作業を行ってきました。

展示会は、「おしかのれん街」の前、かつて公民館があった場所で、仮設テントを立てて実施します。

ぜひ、気軽にお立ち寄りください。

東北学院大学文学部准教授 加藤幸治

□学生の声

私たちは今回の展示会に向けて、

事前に道具や牡鹿半島について調べてきました。

しかし、調べてみても分からないことが多かったので、

この展示会を通して皆さんから道具のこと、

牡鹿半島のことについて沢山教えて頂きたいと思っています！

ぜひ周りの方もお誘いのうえ、足を運んでみてください♪

お待ちしております！！



皆様のお越しをお待ちしております！